南流山小１年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1		---		---	
2	E	区分けはEが良いと思いますが、学区は逆が良いです。南流山7丁目の奥から第二小への通学は、直線距離では近いかもしれませんが、通学路を考えると今より遠くなるためです。	木地区には未整備地が残っており、今後児童数、学級数が増加することを考慮し、E案のような通学区域としております。通学距離が長くなって申し訳ございません。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	特にありません。	御回答ありがとうございました。
3		---		---	
4	D　E	児童数、学級数のバランスを見てもE案、D案が良いと思います。	貴重な御意見ありがとうございました。	参観で教室を見たさいにとても狭く感じられたので、児童数のバランスをとってもっとゆとりのあるクラス運営を行っていただけたらと思います。	貴重な御意見ありがとうございました。1クラスの人数は国の基準で決まっております。
5	E	E	御回答ありがとうございました。	ただ、5.6年生は、アルバム等の関係から、分けないほうがいいのでは？と、思いました。	御回答ありがとうございます。卒業アルバムについては、子どもたちの思い出が消えてなくならないよう、新設校で写真等を共有しながら作成していくことが考えられます。しかし、学年による許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。
6		---		通学区域を分けるのではなく、学年で校舎が違うというのは不可なのでしょうか？（1、2、6年生が現南流小の校舎、3、4、5年生が現南流中の校舎など）	学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。
7		---		中学が東洋学園へ移る案に反対です。遠すぎて子供を通わせるのに心配です。できれば小学校を新たに作る案に戻してくれませんか。おそらくそれを見込んで引っ越してきてる家庭が多いと思います。再検討よろしくお願いします。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。
8		通学区域B案において、R9年度以降の南流山小学校の学級数増加を考慮して、木65-70(ウェリス地区)も第二小学校の区域に含めるなど検討してほしいと思います。(ウェリス地区の児童数は今後も増加する傾向かと思うので。)また流山街道を起点に区域を分けた際の児童数、学級数の増減が把握できる資料等があれば拝見したいです。	おっしゃる通り、B案にして、木６５－７０を第二小にするという案や、街道で分けると児童数のバランスも良いと考えますが、学区外に学校があるということが生じます。今後、通学区域審議会で議論します。	---	
9	E	Eが適切	御回答ありがとうございました。	---	
10		---		---	
11		---		区域より、中学校の運用を早く決めてほしい。東洋学園大学まで通うなんて、事故をおこせっの	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。
12	E	Eの区域で問題ないです。	御回答ありがとうございました。	特になし	御回答ありがとうございました。
13	D	D	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
14		---		在校生は卒業するまで南流山小で過ごすということはできないんでしょうか。ようやく学校生活にも慣れたのに、仲良くなったお友だちと学校が別々になってしまいかわいそうだと感じます。もし難しいようであれば、将来を見据えて2年生以降のクラス替えは、1?4組が南流山小学区の児童、5?8組が南流山第二小学区の児童というように配慮してもらいたいです。小学校は中学や高校と違い、6年間で仲が深められていくものだと思うので、よろしくお願いします。	全ての在校生を卒業するまで南流山小学校に残すことは、児童数・学級数を考慮すると難しいです。クラス替えについては、通学区域が決定後に各学校が学校運営上検討の余地があると考えます。大変ご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。
15		特になし	御回答ありがとうございました	特になし	御回答ありがとうございました。
16	ＢＣＤ	E案では通学路の赤コースの中で第一、第二に学区が分かれてしまい、混乱してしまう。BCD案のどれかの方が学区が分かりやすくて良い。また南流山7丁目から現在の中学校への距離が最も遠い。少なくとも現在の小学校の方にすべき。	２つのの小学校が近隣にあるため、どこを通学区域境としても、同じルートを通って別の学校に通う児童がでてきてしまいます。御迷惑をおかけして申し訳ございません。 通学距離について 通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	希望校に割り振られず不満をもつ家庭も出てくる。学区の境目など一定条件を満たす家庭については、小学校を選択できるようにしてほしい。	学区の境目などを許可区域等にすることで、許可区域と許可区域外との境目で、同じような不満が出ることが想定されるため、許可区域を設定するとしても、慎重に議論していく必要があると考えられます。貴重な御意見ありがとうございました。
17	D	D案が良いです	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	木地区の未整備土地が開発された場合でも対応可能であり、子供らの友達と離れず通うことができるなため	貴重な御意見ありがとうございました。

南流山小１年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
18	D	D案を希望します。神明堀に沿った区切りで分かりやすい。E案は区切りが細かいので分かりにくい。	貴重な御意見ありがとうございます。E案は区画整理地区の境と神明堀に沿った区切りとなります。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
19	C	学校との距離で分けるのが最も簡潔でわかりやすく通う子供に負担が少なく、合理的です。そのためC案が良いと思います。教室が増えること自体は、物理的に増やすことが出来るなら問題はないと思います。	概ね４８学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられます。そのため、物理的に教室を増やすことができたとしても、概ね４８学級を超えないようにしたいと考えております。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	学年で分けるのは難しいのでしょうか？変化が負担になる低学年をそのまま南流山小にし、高学年から第二に移るという形であれば、敷地の広い一つの学校という立て付けで問題ないかと思いました。	御回答ありがとうございました。学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。
20	E	E案希望。木の住所で二つに分かれるとあるが、特に気にならない。今後ますます木地区は住居が立つ見込みあり。それなのにスタート時点から明らかに人数の差があるような構成の区切りにしてしまうとこの先学級数等に大きな差が出てしまう。また、ウェリス地区など明らかに子供が多いエリアの子供をあえて第二にクロスして行かせることで、子供たちが朝通学路ですれ違うことが多く、現実的ではない。そもそもこのエリアの住居を買った背景として小学校と中学校が隣接していたことが大きなメリットなわけであり、遠方に中学を移設するということ自体を考え直すべきだし、バスを出すなど検討するべきである。	E案については、教育委員会も同様に考えております。また、中学校の移転でご迷惑をおかけしてしまい、大変申し訳ございませんでした。 貴重な御意見ありがとうございました。	---	
21	B C	B案かC案を希望します。自宅から近い側の小学校に通わせたいと思います。よろしくお願い致します。	概ね４８学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられるため、委員会としては、将来的にも４８学級を超えないようにしたいと考えております。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
22	E	「案E」は記載の通り、児童数や学級数のバランスがとれていると思いますので、賛成します。	御回答ありがとうございました。	(1)次年度以降は毎年クラス替えが行われると伺っています。南流小・南流第二小の学区内（例：現1年生でいうと1～4組は南流小学区児童、5～8組は南流第二小学区児童というような）でクラス替えをして頂くなど、将来学校が別々になってもお友達関係がスムーズにいくような配慮をいただけると有難いです。(2)PTA役員（本部等）の着任履歴については、学校が別になっても引き継いで頂きたいです。	クラス替えについて 全ての在校生を卒業するまで南流山小学校に残すことは、児童数・学級数を考慮すると難しいです。クラス替えについては、通学区域が決定後に各学校が学校運営上検討の余地があると考えます。貴重な御意見ありがとうございました。 PTAについて （仮称）南流山第二小学校にPTAが設置されるかどうか自体、決定しておりません。また、PTAの運用については、教育委員会からはお答えすることができません。
23		東西、南北などで分けるなど分かりやすく分けてほしい。	おっしゃる通り分かりやすい学区がいいと考えております。概ね４８学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられます。東西で分けるC案やD案、南北で分けるA-1案やA-2案とすると、４８学級を超えてしまうため、教育委員会としてはE案を推奨しています。	南流山小学校でせっかく仲良くなったお友達と別々の小学校になるかもしれなくて子供が精神的にすごく不安定になる可能性が考えられる。令和６年度以降で学区を分けるなど、最善策をもっと練って欲しい。	仲の良い友達と学校が分かれてしまうということは、子どもたちにとって非常に辛いことであることは認識しています。学校が違えども、仲の良い友達が将来もお友達でいられるよう、お別れ会を行ったり、近隣校であることから様々な交流を図ったりすることが考えられます。どの年度で通学区域を分けたとしても、同じようなことが想定されます。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。
24		---		---	
25		通学ルートが同じお友達が多いので、離れてしまうのは子どもの精神状態が不安です。赤コースは一緒の学区にして欲しいです。	仲の良い友達と学校が分かれてしまうということは、子どもたちにとって非常に辛いことであることは認識しています。２つの小学校が近隣であるため、どこを通学区域境としても、同じルートを通って別の学校に通う児童がでてきてしまいます。学校が違えども、仲の良い友達が将来も友達でいられるよう、お別れ会を行ったり、近隣校であることから様々な交流を図ったりすることが考えられます。御迷惑をおかけして申し訳ございません。許可区域等について、今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
26		南流山7丁目から通学しています。今でもクラスで一番家が遠く、第二小学校になるとさらに通学時間が長くなります。子供の負担を考えた区割りにしていただきたいです。	通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	---	
27	B C	Bか Cが、分かりやすいと思う。 A は絶対ない。	御回答ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	

南流山小１年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
28		A-2案、E案だと南流山7丁目近辺から通学している子供達は現在より長い距離の通学となり、特に低学年の時は体力的に辛くなってしまうと思います。(実際現在でも荷物の多い日や夏場に体力的に辛くて泣きそうになりながら下校してきたという話を聞いた事があります。)また、学区分けのデメリットの中に南流山地区と木地区が混在するという内容がありましたが、実際に通学する子供達にとってはそこは大きな問題ではないと思います。子供達の通学負担が増えない区分けをお願いしたいです。	通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。通学区域を設定する上で、地域コミュニティにも配慮しております。貴重な御意見ありがとうございました。	生徒数のバランスや今後の児童数の増加などもあるかと思いますが、子供達の通学負担も考慮して学区域の検討をお願いします。	御回答ありがとうございます。今後の児童数の増加見込みという観点とともに、通学距離も考慮しておりますが、再度通学区域審議会で検討していきます。
29		特になし	御回答ありがとうございました。	特になし	御回答ありがとうございました。
30	D	D案も良いなと思いました。南流山第二小学校がどのくらいの規模かにもよると思うのですが…。	貴重な御意見ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
31		特になし	御回答ありがとうございました。	6年生について、どちらの小学校に通うか希望が出せるようにする、または2校が合同でイベントを実施する機会を作るなどのご配慮をいただければと思います。	学年による指定学校変更許可については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えます。また、近隣校であることから、様々な交流を図ることが考えられます。 貴重な御意見ありがとうございました。
32		---		---	
33	E	3年後、6年後の数値であればE案で良いと思うが、10年後、15 年後はどう考えているか？今回の中学移転及び第二小学校の開校については、人口推計が外れた結果であり、今回の推計値自体の信憑性に疑義が残るため、また教室数が足りなくなり学区変更等がおきるのではのいう不安が残る。	現在のところ、児童生徒数推計は令和９年度までしか算出することができません。今後の増加見込みについては。未整備地の残面積と年齢別児童出現率をもとに算出しております。木地区に未整備地が残っており、教室数に余裕をもたせるため、E案を推奨しています。	・E案では、第二小学校の方が教室数が少なくなるが、校庭の広さは第二小の方が広くなる。第一小は校庭面積が比較的狭く、子供たちの将来の運動能力に悪影響が起きないか不安に感じる。例えば、第一小と第二小の校庭に歩道橋を作るなどして、お互いの校庭を共有するなどできないか？ ・現在の1?3年生は学校が分断されることになる。子供たちのメンタルはどのように考えているか？また対策はどのように考えているか？友達と別れることで、不登校や、最悪の場合は自殺ということにもなりかねない。今までこの規模の話はあまり聞いたことがなくしっかりリサーチして、対策を練る必要があると思う。	貴重な御意見ありがとうございました。おっしゃるとおり、屋外運動場面積は、南流山小学校よりも、（仮称）南流山第二小学校の方が広いことは事実です。しかし、他の市立小学校も含めて、児童の増加等により、全く同じ条件で教育環境を整えることが難しい現状もあります。今後とも、子どもたちの精神的なケアのため、対策を講じていく必要があると考えております。
34	E	第三小学校の将来新設がない限り、E案以外はない	御回答ありがとうございました。	---	
35	E	資料を希望します	御回答ありがとうございました。	---	
36	E	E	御回答ありがとうございました。	---	
37		なし	御回答ありがとうございました。	なし	御回答ありがとうございました。
38	E	案E良いと思います。	御回答ありがとうございました。	人数が多い分先生達への負担があると思いますがどうか生徒達のことを第一にお願いいたします。	おっしゃるとおり、子どもたちへの負担が最小限で済むように検討していきます。
39	A-2	A-2案は学区面積もきれいに分かれており、現段階南流山小が49教室ある事から令和9年時の教室を増やす事なく、第二小学校の増設も手を加える事ないのであれば良い案だと思います。	概ね４８学級を超えると、学校運営に支障をきたすと考えられます。A-2は、字で区分けすることで、分かりやすい学区ですが、令和９年度は４９学級となり、木地区の児童数の増加見込まれているため、さらに学級数が増加することが想定されます。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
40		---		木地区に空いている区画があるなら何故そこに学校を作ろうとしなかったのかがそもそもの疑問である。中学校が遠のくことにより児童や家庭の負担が増えることの方が懸念されるべきである。スクールバスの準備など進められているのかそちらもきちんとした回答がほしい。先に解決するべき問題を後回しにしてはいけない。都会の市立学校でこの通学範囲の遠さはおかしすぎる。	南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。スクールバスについては、他の同じような距離の学校でも導入していないため、検討しておりません。御迷惑をおかけして申し訳ございません。
41		---		---	
42		流山街道でわける案はないのでしょうか？特に大型マンション、ウェリスとアクアがあるので、わける案がないのかなと思いました。E案については、一部離れている木エリアの子供達が気になります。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。一部離れている木地区については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えております。	小学校建設、突然の中学校移転など、住宅購入時になかった事が起こっています。子供達にとって良い方法を考えていただきたいです。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。今後、御子様方にとって良い方法を、今後通学区域審議会等で検討していきます。
43		---		仕方ない事ですが、友達と別れてしまうのは可哀想だと思います。中学校もかなり遠いため、負担が増えてしまいます。	友達と別れてしまうということは、御子様方にとって非常に辛いことであると認識しています。また、中学校への通学距離が長くなってしまうご家庭へも御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。

南流山小１年生（48件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
44	A-1	A-1	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	南流山区域から、大勢の生徒が自転車を含め通学するのは危険です。通学バスの導入を希望します。そもそも第二小案には反対ですので南流山にも中学校の新設を希望します。おおたかばかり学校が建ったり開発が進み、南流山駅は変わらず、同じ市内に住む身として不公平感が募ります。目の前の中学校に通えないのに、なぜこの土地に家を買ったのか、悲しくなります。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。今後、子どもたちにとって良い方法を、今後通学区域審議会等で検討していきます。
45		---		現在1年、3年生に子どもがいます。どの通学区域になるかにかかかわらず現在ともに学校生活をしているので、学年共通の行事（遠足、修学旅行など）は分けずに開催してほしいと思います。卒業式は全員集まって行ってほしいです。学校生活の途中で分割を経験した学年は授業だけを別校舎で受け、その他行事は可能な限り集まって行うイメージです。令和6年度以降は完全に分けてしまってもよいと思います。	２つの学校に分けた上で、全ての授業や学校行事を合同で行うということは、学校運営上難しいところかと考えますが、近隣校であることから様々な交流が図られることが考えられます。
46	E	E案で良いと思います。	御回答ありがとうございました。	数年後に、また通学区域の変更がある(学校や周りの友達、先生がガラッと変わる)となると子どもにも負担のため、両校のバランスやキャパシティを考慮して決定頂きたいです。	おっしゃるとおり、両校のバランスやキャパシティを考慮しておりますが、令和６年度以降のことも考慮しております。
47	ＢＣ	学区の面積よりも、人数のバランスや現在通っている子達の通学時間を考慮する意味でも、BまたはCが妥当だと思う。	おっしゃるとおり、人数のバランスは考慮しておりますが、令和９年以降も児童の増加見込みがあるため、将来的な人数のバランスを考慮し、E案を推奨しています。 通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	交友関係や先生との相性なども考慮して、特別な事情のある児童手当は地区で割り振られた学校ではなく、もう片方の学校を選択できる様にするといいと思う。	特別な事情にもよりますが、現状どおり、特別な事情のある児童は指定学校の申立をすることができます。
48		---		学区をふたつに分けるのではなく、学区はそのままで学年で分けるのはいかがでしょうか。たとえば6年生に1年生のお世話をしてもらうなら同じ場所にしたりと、中学校のほうが教室数が少ないのであれば2つくらいの学年は中学校で、残りの4学年は小学校でなどと。もちろんその年によりクラス数も違うと思うので臨機応変に対応するようにすればよいですし、幸い小学校と中学校の立地場所が近いということも検討してみるのはいかがでしょうか。	御回答ありがとうございます。学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。

南流山小２年生（43件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1	E	Eを希望します。	教育委員会も同様に考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	特にありません	
2		A2とEの案は、7丁目の線路付近の方が遠い気がします。	通学時間が長くなることについて、御心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	第二小学校でも、旗振りの方がいた方がいいと思います。	御回答ありがとうございます。子どもたちやその保護者にとって、旗振りの方がいた方が安心して登校できると認識しております。見守り活動は、その地域の方々を中心とした御厚意により成り立っているものです。貴重な御意見ありがとうございました。
3	E	E案が総合的に考えると一番妥当かと思います。	御回答ありがとうございました。	一方的に決めるのではなく、きちんと皆さんのご意見を踏まえて判断されることを期待しております。	貴重な御意見ありがとうございました。皆様の意見を踏まえ、今後通学区域審議会で議論してまいります。
4		第二に移動する子ども達の、友達と別れるストレスと新しい環境に対するストレスの負担は大きいと感じる。さらに、いきなりE案の学区にしてもすぐに第二の改築工場などが始まるのであれば、いつまでも落ち着かない環境負担を、この一部の学年の一部の学区の子ども達に負わせるのは、平等な教育環境とは思えない。学区編成を数年単位で、B案からE案へ移行していくなど、地域に不公平感を感じさせないような、柔軟な対応を考えていただきたい。また、高学年は、残り少ない小学校生活を卒業に向けて団結していく大事な時期でもあるので、移動しない選択肢も考えてほしい。子どもの意見だが、アルバムなどの入学からの思い出がきちんと新しい環境でも引き継がれないなら、思い出がなくなるなら、移動したくないとの事。教育環境は、あくまでも大人目線の事情なだけで、子ども達が一番大切にしたいことは、友達と、友達と過ごした時間と思い出である。子どもの立場に寄り添って、そこを奪わないような柔軟な学区移動を考えていただきたい。	御回答ありがとうございます。友達と別れてしまうということは、子どもたちにとって非常に辛いことであることは認識しています。学校が違えども、近隣校であることから様々な交流を図ることができると考えております。また、卒業アルバムなどの思い出も両校で共有し、大切な思い出がなくならないような配慮はできると考えます。学区編成を数年単位で移行していくなど、貴重な御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
5	E	通学区域ですがよりメリットの多いEの案が良いかと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
6	E	E案で賛成です。	御回答ありがとうございました。	どの通学区域に決まっても、通学路の安全は確保して下さい。子供達が安心して通える通学路をお願いします。	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。
7	D	D案が良いと思います。今後の児童数のバランスを考えて頂きたいです。木と南流山地区で分けるのはメリットを感じません。地区名はこだわなくても良いと思いました。宜しくお願い致します。	御回答ありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	---	
8		低学年と高学年に分けることは出来ないのでしょうか？	御回答ありがとうございました。学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。	特になし	御回答ありがとうございました。
9		---		兄弟で学校が別れるようなことは無いようにしてほしい。	貴重な御意見ありがとうございました。現在、市内の他の小中学校でも、保護者の負担を考慮し、兄弟姉妹は同じ学校に通うことができるように配慮しているところです。今回の新設校でも同様に考えております。
10		---		---	
11		Ａ案の場合、通学路を工夫しないと、２つの学校の間の堀の橋が混雑すると思います。	貴重な御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
12		今後木地区の世帯増加を鑑みて	御回答ありがとうございました。	---	
13		今後木地区の世帯増加を鑑みて、数年後に人数の偏りがないように学区区域を制定していただきたいです。	御回答ありがとうございます。	---	
14		---		---	
15		---		---	
16	A-1	この中ではA1の案に賛成です。	御回答ありがとうございました。	皆さん入った学校から卒業したいのではないでしょうか。新入学生から調節したら良いのでは。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。児童数推計では、令和６年度時点において、全校で５８学級となり、在校生を全員残すことは考えにくいものがあります。また、新設小学校の在籍が新１年生だけとなると、子どもたちの活動が制限されてしまい、理想的な学校運営ができなくなることが予想されます。貴重な御意見ありがとうございました。

南流山小２年生（43件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
17		---		学区ではなく学年毎でという案はないのでしょうか？子供達のストレスにならないよう対策をお願いします。	御回答ありがとうございます。学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、より良い教育環境が整えられると考えております。
18		今通っている方からわざわざ変わるのは子どもの負担になると思う。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、学区が変更になることは、お子様にとって大変な負担になることは認識しております。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。	一度親にもアンケートとして在校生にどちらが通いやすいかアンケートをとるべきではないか	学校を転校するということは、お子様や保護者にとって大変負担になるということを教育委員会としても認識していることから、現在の学校に留まりたいという御意見が多数を占めると予想しております。全ての方のご希望に添えないことになるため、御意見のある方には本アンケートで御回答をいただいているところです。御回答ありがとうございました。
19		人数バランスが良く、この通学区が一番良いことが分かりました。	御理解いただきありがとうございました。今後、通学区域審議会で議論してまいります。	南流山第二小学校の校庭には遊具がありません。何か遊具に変わるものなど、ぜひ、設置を検討して欲しい。また、学校内の作りとして、中学生が使っていたものと小学生が使うものはサイズ感の違うものもあると思います。ぜひ、精査していただき、小学生が楽しく通える学校になるよう、ご配慮いただきたいと思います。	おっしゃるとおり、中学校を小学校として使用するにあたり、遊具や教室、備品等、小学校仕様にしていく必要があると認識しております。貴重な御意見ありがとうございました。
20		色々な意見があると思うが、一番重要な「児童数をバランスよく分け、どちらの学校でも教室が十分に確保できること」だけに焦点を絞って決めるべきだと思う。	貴重な御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	現時点でも、南流山小の1クラスの人数は多すぎると思う。体の小さい低学年でもぎゅうぎゅうで、これからどんどん体が大きくなっていくと、圧迫感すらあると思う。	御回答ありがとうございます。小学校の１クラスの人数は、国によって基準が定められており、令和３年度時点では、小学１～２年生が３５人、３～６年生は４０人となっておりますので、その範囲内で運用しております。
21	E	Ｅに賛成です。	御回答ありがとうございました。	---	
22	A-2	A-2	御回答ありがとうございました。	---	
23		特になし	御回答ありがとうございました。	特になし	
24	D	通学区域案はD案がいいです。人口が増える予定である木地区を、増築が可能である第二小学校への通学が望ましいと思います。また現在、南流山7丁目は学区の中でも遠くに位置していて、E案の場合さらに通学に時間がかかるようになってしまいます。またE案では両小学校の通学路が重なる部分ができ、危険なのではないでしょうか。	御回答ありがとうございます。教室数は現時点で南流山小学校49教室、（仮称）南流山第二小学校27教室と、流山小学校の方が大幅に教室数が多いため、E案を推奨しています。通学時間が長くなることについて、御心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。	通学区域の分け方によって、両小学校の通学路が重なる部分が出てくると人数も多くなり、大変危険だと思います(特に木交差点)。人数増加のことだけに関わらず、通学路の安全性なども配慮して頂いて、通学区域を決めて頂ければ幸いです。	御回答ありがとうございます。両小学校が近隣にあることから、現在使用している通学路とほぼ同じになる児童が多くいることが予想されます。今後通学区域審議会で議論してまいります。貴重な御意見ありがとうございました。
25		小学校と中学校の間の中島文具店の交差点は、車や自転車の通りも多く、危険なため、あの交差点を跨がなくてすむような区分けにしてほしい。	貴重な御意見ありがとうございます。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。	中学校を東洋大学に移設することに反対。通学に徒歩で教室まで40、50もかかる通学を1000人近くいるこの二つの小学校区画の子供たちにさせるのは、無駄が多い。通学路も危険で整備されていないし、道が狭くて難しい。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。
26		木地区在住です。E案が有力とのことだが、それだと児童の範囲が狭く、友達が広がっていかない。流山街道で区切るのはどうだろうか。南流山地区の子との交流はあってほしい。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。しかし、２つの学校が近隣校であることから、様々な交流が図られることが考えられます。	---	
27		なし	御回答ありがとうございました。	なし	御回答ありがとうございました。
28		木の交差点を利用するかどうか。旗振り当番の負担があるため。	貴重な御意見ありがとうございます。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。	---	
29	E	E	御回答ありがとうございました。	---	
30		---		木地区なので第二小学校に通学することになるが、出来ることなら現在の小学校で卒業まで過ごさせてあげたいという想いがある。長く過ごし思い出が詰まった環境、仲の良い友達と別れなければならないのは寂しくないだろうか。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。おっしゃるとおり、卒業まで現在の小学校で過ごさせてあげたい気持ちはお察しします。仲の良い友達と別れてしまうことは子どもたちにとって非常に辛いことであることも認識しております。学校が違えども、仲の良い友達が将来もお友達でいられるよう、お別れ会を行ったり、近隣校であることから様々な交流を図ったりすることが考えられます。貴重な御意見ありがとうございました。

南流山小２年生（43件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
31		保護者側からの意見では個人的な理由が大半となると思います。運営・教育環境・過去事例などから最適と考えられる案を提示して、説明頂ければと思います。	貴重な御意見ありがとうございました。	なし。	御回答ありがとうございました。
32	A-2	A2が良い。A2は住所の観点から混乱なく学区を分けられるが、Ｅは学区分けが分かりにくい。Ｅのメリットとして、第二小学校は改築できるとあるが、南流山小学校は何故改築が無理なのか理由が明示されておらず納得できない。まだ数年の猶予があるのだから、改築を第二小学校に限らず幅広に検討すべきである。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、A-2案は南北で通学区域が分かれており、わかりやすいと認識しております。しかし、A-2案の方がE案よりも南流山小学区の方に木地区が多く含まれており、南流山小学区の児童数の増加が見込まれます。また、南流山小学校は、既に過去に増築済みで、増築するための用地が足りません。一方で（仮称）南流山第二小学校は教室としての改築をすることで教室数を確保できるほか、増築の用地もあるため、E案を推奨しています。貴重な御意見ありがとうございました。	そもそも本件は、流山市の計画策定の稚拙さが原因ではないのか。宅地販売を増やせば、保育園を増やせば、数年後に小学生・中学生の数が増えるのは明らかであり、小学校や中学校の新規開校を計画的に進めるべきだった。しかし本件の経緯からはそれを感じられない。市として、市の施策によって移住してきた市民への影響・しわ寄せを最小限にする責任がある。流山市に対して、アンケートの既成事実だけ作り、地域住民の意見を無視することをしないことを強く求める。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。本アンケートの御意見を、今後通学区域審議会で議論してまいります。貴重な御意見ありがとうございました。
33		---		---	
34		---		---	
35	A-1　D	A-1 またはD案でいいと思います。E案は1番あり得ないと思いますが、どおして教育委員会さんはこれを推すのでしょうか？これでE案に決定したら、移転のアンケートに続きまたアンケートの意味がないアンケート募集になります。	御回答ありがとうございます。E案を推奨する主な理由としては、今後の児童数の増加見込み、児童数のバランス、両校の教室数です。	いつになったら正式な中学移転説明会がありますか？？まだタウンミーティングで30分ほどしかされていないようですが、それはあまりにもです。コロナの……というならなぜタウンミーティングはできたのでしょうか？？今の時代オンライン説明会もできるはずです。その後全く意見交換もできていないのではないですか？？もう勝手に進めるのですか？？	市民参加条例に基づき、南流山中学校移転基本設計（案）に係る意見交換会を令和３年１２月１１日に実施いたします。
36	E	E案で問題なしです。賛成です。	御回答ありがとうございます。	クラス役員の役職履歴や体操服などは新1年生は別として引き継ぎ使用できるようにしてもらえると助かります。	御回答ありがとうございます。前の学校でのお子様の様子は新設校の教員とも共有することになります。また、ご家庭への経済的な負担がないように配慮していきます。貴重な御意見ありがとうございました。
37		---		---	
38		新規開発地区と既存住宅地区で別れる形になるのが気になります。学校によって保護者の考え方が全く違ってくるのではと思います。	貴重な御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	今更ですが、METRO跡地に小学校建設は無理でしょうか。流山小も人数が増えているとのことで、流小南小の中間地点に小学校が有れば解決できるのではないかと思います。	御回答ありがとうございます。現在児童が増えている木地区からは距離があるとともに、用地確保に時間がかかることが予想されます。貴重な御意見ありがとうございました。
39		ウェリスとアクアスイート分けないと分散されないんじゃないのか	貴重な御意見ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	徒歩の距離が遠くなる分け方はしないでほしい	通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ありません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。貴重な御意見ありがとうございました。
40		---		---	
41		教育委員会案に賛成。	御回答ありがとうございました。	選択肢が多すぎて、判断基準が不明瞭のため、判断に困る。まず教育委員会案をA案として、問題点を解決するB, C, D,E案を示すべき。保護者、生徒視点での学級数が多いことのデメリットが明示されていないの、詳細を記載した方が良い(例えば教室が狭くなる、教師一人当たりの受け持ちが多くなって質が低下するなど)。	ご不便をおかけして申し訳ございません。学級数が多いことの最大のデメリットとは、使用できる教室数が足りないことです。そして、教室数が足りたとしても、概ね４８学級を超えると、学校運営に支障が出てくると認識しております。例えば、特別教室や体育館等が自由に使えないことや、おっしゃるとおり、教員一人当たりの授業時数が多くなることなどです。貴重な御意見ありがとうございました。
42	E	E案が良いように感じる。木地区の今後の児童増加数を考えると児童数バランスが取れて良いと思う。南流山地区と木地区が混在することはある程度仕方ないことだと考える。	御回答ありがとうございました。	なし。	御回答ありがとうございました。
43	B	全体としてはB案が良いと思います	御回答ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論してまいります。	特別支援学級は設備面（トイレ、エレベーターなど）を考えると南流山小学校のままが良いと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。特別支援学級が設置されれば、それに合わせて必要な設備を整備していきます。

南流山小３年生（28件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1		---		---	
2	E	E	御回答ありがとうございました。	---	
3		異議なし	御回答ありがとうございました。	異議なし	御回答ありがとうございました。
4		---		---	
5	D	D案がバランスが良く適当と思う	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
6		特に無し	御回答ありがとうございました。	特になし	御回答ありがとうございました。
7		木交差点を使う子供達は同じ通学区域にして欲しいです。黄色い旗持ちの時、安全面も考え同じ通学区域の方々がやった方が、子供達も安心すると思います。	御回答ありがとうございます。現在も、木交差点は多くの児童が使用しており、そのように通学区域を分けることは難しいものと認識しておりますが、今後通学区域審議会で議論してまいります。なお、通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。	---	
8		---		新しい学校を作るのは、お金の無駄が多すぎる。作れば数年後に廃校になるし、新しい学校作りに経費が掛かる。箱物を作りより、もっとDX（デジタルトランスフォーメイション）を勧める拠点する。国もデジタル庁が創設されるので、同じように流山市も導入する。そこにお金をかけることが大切では？流山市は子育しやすい街と打って聞きたが、これから、デジタルで暮らしやすい街にしていくのがいいかと。トヨタ自動車が御殿場に作る街ウーブンのような拠点にして、私の新しいPRにしてはどうか？	貴重な御意見ありがとうございました。現時点において、南流山地区の子どもたちが就学するために必要な学校設備が不足する予定のため、新設校を設置することとなりました。
9		バランスのことばかり言っておられるようでとても悲しいです。一番大事なのは子どもたちの安全なのでは？具体的にどんな安全対策を講じていただけるのでしょうか？子どもを安全に通わせられるかは、それによると思います。それが提示されないと、意見を述べようがありません。現時点でも学校前の道路が「登下校時間帯の車両通行禁止（スクールゾーン）」になっていないことが気がかりです。旗振りする大人ですら危険だと感じます。 親としては、これ以上通学路が伸びることは確実にリスクが増すのでやめていただきたい。これに尽きます。	通学時間が長くなり、通学中のリスクが増すことについて、ご心配をおかけして大変申し訳ございません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学路に関しては現在とほとんど同じ道路を使用することが想定されます。通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えます。なお、通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。	現時点でも危険だと感じる通学路があります。登下校を見守っている保護者や近隣住民のかたの方が詳しいはずです。危険個所のアンケートをとって、現行と新規の通学路両方の安全対策を早急に講じていただきたいです。また、いつもこの手のアンケートや説明が唐突な印象です。次のアンケートはいつですか？中学校移転も含めて全体スケジュールを示していただきたい。子どもの心のケアなども検討してください。子どもたちにとっては、ある日突然友人と離れ離れになるわけです。不登校などを生まない方策を必ず専門家交えて検討し、示してください。	南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学路に関しては現在とほとんど同じ道路を使用することが想定されます。通学路の安全につきましては、毎年学校から挙がってきた危険箇所を、學校を含め警察等の関係機関と合同点検を行い、必要な対策を講じています。また、緊急性がある箇所については、随時点検を行っています。新設校に関しても、開校前から合同点検を行っていきます。 アンケートについて御迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。このアンケート結果をもとに、通学区域審議会で議論し、最終的には通学区域審議会での答申をもとに今年度末を目途に方針が決定していく予定です。 南流山中学校の移転については、令和６年４月開校に向けて準備を進めています。 子どもたちにとって学校が変更になることは、精神的な負担が大きいことも認識しております。貴重な御意見ありがとうございました。
10	E	Eで良いと思う。ただ、学級数の想定は、コロナの影響で出生数に変動があるのか、区画整理の宅地に何世帯くるのか、見極める必要があるはず。	今後も児童数推計を注視しながら研究していきます。貴重な御意見ありがとうございました。	---	
11	C	通学しやすいという面でC案がいいと思います。友人と帰宅という場合もこの分け方の方が、近くまで一緒に帰れて安心です。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
12	A-1　D	A-1又はDを希望	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	Eはクラス数的には良いが放課後の交友関係場所を考えるとやめてほしい	御回答ありがとうございました。
13	B	B案に賛成です。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	できれば、今の3年生は、6年生の途中で分けるのではなく、そのまま卒業させてあげて欲しいです。受験で別れる子もいるだろうから変な時期、そして最後の年に分割させるのは、可哀想です。人間を育てる教育の場です。良い采配を願います。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございました。
14	E	Eでいいと思います	御回答ありがとうございました。	---	
15		なし。	御回答ありがとうございました。	なし。	御回答ありがとうございました。
16	E	E案で問題なし	御回答ありがとうございました。	①A-1 朝小学校の前でそれぞれの方向に向かう児童がすれ違って危ない ②学校近くの神明堀は朝のみ車両通行禁止にすべき	通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。
17	E	教育委員会が推しているE案で概ね良いと思う	御回答ありがとうございました。	---	

南流山小３年生（28件）

No.	希望学区	通学区域について		その他	
		意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
18		---		既に在学中の児童とその弟妹に関しては、決定した新たな通学区域に関わらず、希望者は南流山小学校へ継続して通学できるように配慮していただきたいです。	児童数推計では、令和６年度時点において、全校で５８学級となり、在校生を全員残すことは考えにくいものがあります。また、新設小学校の在籍が新１年生だけとなると、子どもたちの活動が制限されてしまい、理想的な学校運営ができなくなることが予想されます。貴重な御意見ありがとうございました。
19	A-1	A1の案がいいと思います。今は木地区にさらに住居が立っており他のプランだといずれ偏りが大きくなるため。区切りが分かりますい方が良いと思います。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	特になし	御回答ありがとうございました。
20	E	Eの案が一番メリットもあり、学区も分かりやすくて良いと思います。児童数もバランスが取れていて良いと思います。	御回答ありがとうございました。	---	
21		---		現在3年生です。小学校6年の時に第２小学校が開校します。最後の年に通学区域で別々の学校にならないよう配慮願いたい。最後の修学旅行等、仲のいいお友達がいない状態で迎えるお友達もいると思います。コロナでなかなかお友達とも遊べない中、最後の修学旅行までお友達を奪わないでほしい！切実な子供の願いです。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございました。
22		現3年生の子どもの母です。新小学校で卒業学年だけ過ごすことになります。５年間共に過ごした仲間と離れ離れになるのはかわいそうです。学年別に分けたり、学区外通学はできないのでしょうか。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。貴重な御意見ありがとうございました。	通っている子どもたちの声を聞いて欲しいです。	貴重な御意見ありがとうございました。多くの子どもたちは、卒業まで今の仲間と過ごしたい、仲間と別れるのは辛いと考えているのではないかと認識しております。その気持ちを可能な限り生かせるよう、慎重に通学区域を決めていくべきだと考えます。また、離れ離れになっても将来も仲の良い友達でいられるよう、近隣校であることから様々な形で交流を図ることができると考えております。
23		---		---	
24		なし	御回答ありがとうございました。	なし	御回答ありがとうございました。
25	Ｂ　Ｃ	案Eでは学区域が混在し過ぎており子どもの混乱があると思います。学区域がシンプルなBかC案が良いと思います。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、B案やC案は通学区域がシンプルでわかりやすいというメリットがあります。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
26	Ｄ　Ｅ	DかEが良いと思う。今後の学級数のバランスがよく、教室がまた足りなくなるという心配が少ない。	御回答ありがとうございました。今後通学区域審議会で議論してまいります。	---	
27		現案に反対です。	御回答ありがとうございました。	---	
28		南流山７丁目から通っていますが今時点で通学に30分かかっているのに第２小学校になると更に40分近くかかります。木エリアの方が小学校から近いのに何故遠い南流山エリアの子が更に遠い第２小学校になるのでしょうか？木エリアを第２にするべきです。合理的な理由があるのなら教えていただきたいです。	御回答ありがとうございます。通学時間が長くなることについて、ご心配をおかけして申し訳ございません。南流山小学校と（仮称）南流山第二小学校との距離は２００ｍ弱のため、通学時間が長くなるとしても数分であると認識しておりますが、再度通学区域審議会で、議論していく必要があると考えております。	---	

(仮称)南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
1	メール		記載されている生徒数推計ではE案で良いと思うが、そもそもの生徒数推計が正確なのかに疑問がある。学校教育課の担当の方に問い合わせしたところ、統計は外部委託しており、住民登録している子供に、開発中の場所には出現率を考慮して最終的な数値を計算しているという回答だった。 ただ、もともとの話として、人口推計が誤っていたから、今回のような事態になっており、そもそものその数値についてもう少し根拠資料を出してもらえないと、アンケートに答える側も、どうせまた足りなくなるんじゃないかという不安がある状況で答えることになる。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。児童数推計はあくまでも予想であり絶対ではないため、今後も注視しながら早期に対応ができるようにしていく必要があると認識しております。	E案では、第二小学校の方が教室数つまり生徒数も少なくなるが、校庭の広さは第二小の方が広くなる。第一小は校庭面積が比較的狭く、子供たちの将来の運動能力に悪影響が起きないか不安に感じる。現在も人数が多すぎて持久走が行えていないと聞いている。例えば第一小と第二小の校庭に歩道橋を作るなどして、お互いの校庭を共有するなどできないか？ 現在の1～3年生は同級生と学校が分断されることになる。子供たちのメンタル面はどのように考えているか？またそれに対する対策は考えているか？友達と別れることで、不登校や、最悪の場合自殺ということにもなりかねない。今までこの規模の分校の話はあまり聞いたことがなく、しっかりリサーチして専門家に聞くなどして、子供たちのケアをしていく必要があると思う。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。おっしゃるとおり、屋外運動場面積は、南流山小学校よりも、（仮称）南流山第二小学校の方が広いことは事実です。しかし、他の市立小学校も含めて、児童の増加等により、全く同じ条件で教育環境を整えることが難しい現状もあります。 学校が変わることは、子どもたちにとって精神的な負担が大きいく、精神的ケアが必要であることは認識しております。また、近隣校であることから、様々な交流が図られることが考えられます。
2	メール	B、C	通学区域はBとCを希望いたします。 木地区の方がまだ開発されていない土地も多く、直近の数年後だけでなく長い目で見ても、古くからのお家や子育て世代以外も多く住む南流山地区よりも、人口が増えていくと思います。 そこで木地区と南流山地区を別の学区に分けてしまうと、木地区の学区の小学校の方が生徒数も多くなって偏りが出てしまうと思います。 その他にも、すでに今南流山小学校に通っている子供たちは、南流山地区と木地区が混在した学区です。 在学中の途中で学校が分かれることになり、仲良くなったお友達と離れてしまったりで心の不安が心配。 ただでさえ今はコロナの影響で子供たちもストレスを抱えているし、分散登校をしたり行事も制限される等で、また新しいお友達関係を一から築くのも大変な事だと思います。 小学校の6年間は人生の基盤になる貴重な大きな時期だと思うので、そのあたりも慎重にご検討頂きたいです。 自分の子も令和6年では、小学校2年生。入学してすぐに学校が2つに分かれてしまいます。 在学中の子達の心のケアのためにも、すでに入学している家庭は、学区に限らず希望する方のみどちらの学校に行くか(第二小学校か南流山小学校か)を選択できたらいいと思います。	御回答ありがとうございます。おっしゃるとおり、木地区の人口の方が伸びていくことが予想されています。令和９年度には４８学級を超えてしまう可能性があるため、E案を推奨しています。 子どもたちにとって、学校が変わり精神的負担が大きいこと、精神的ケアが必要であることは認識しております。学校が違えども、仲の良い友達が将来も友達でいられるよう、近隣校であることから、様々な交流を図ることができると考えます。 御心配をおかけして大変申し訳ございません。	2つの小学校と分けずに、１～３年生を現南流山小学校の校舎4～6年生を元南流山中学校の校舎にして1つの学校とする案はダメでしょうか？どのような形でもいろんなメリット、デメリットが出てくると思います。 それぞれの家庭が納得のいく学区の決定を願います。 宜しくお願いいたします。	御回答ありがとうございました。学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。
3	メール	B、C	流山街道を区切りに学区を分けての案がいいと思いました。 B案、C案、もしくは南流山6丁目も込みにしてみる。 通学路が分かりやすくなるかと思います。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。今後通学区域審議会でも議論していきます。	保育園の友達と小学校も一緒に通えることが、親として一番の望みです。	御回答ありがとうございます。お友達と同じ学校に通いたいというお気持ちはお察しします。御理解御協力をお願いいたします。
4	メール	A-1,A-2	案では収容人数の都合を優先して、近所の子供が一緒の小学校に入れない案が多かったのですが、子供たちのことを考えて、近隣 の子供が同じ小学校に通えるようにして欲しいです。「案A - 1 」 または「案A - 2 」を希望します。	御回答ありがとうございます。今後通学区域審議会で議論していきます。	今回、自治体が一番お勧めしている案が「E 案」になっていましたが、一番のお勧めであれば、「A 案」として最初に提示した方が適切だと思います。	御回答ありがとうございます。貴重な御意見ありがとうございました。

(仮称)南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
5	メール	A-1,A-2	アンケートであるのにP．2「案E を通学区域として設定したいと考えている」と都合のいい案に誘導するような書き方をしないでいただきたい。 「案E 」は大きな道路でもないのにここで区切るのは違和感がある。目の前の近所の子と学校が異なるのは子ども成長、教育によくない。市の都合ではなく、子どものことを第一に考えてください。近所「案A - 1 」または「案A - 2 」で進めてもらいたい。 「案A - 1」または「案A - 2」で収容人数が解決できない場合は、「A 地区北東部」を鰭ヶ崎小学校への収容することも検討し、解決してもらいたい。 また松戸市のように通学する学校を選択できるようにしてもらいたい（抽選になるのは仕方がない）	御心配をおかけして大変申し訳ございません。E案は、北側はA-2案と同様、南側は神明堀を境にして設定しております。今後通学区域審議会で議論していきます。	転入者が増えると困る状況なのだら転入者を減らす施策も出すべきである。言っていることやっていることがチグハグで信用ならない。 おおたかの森方面ばかり市政が優遇されているように感じる。 転入が多い南流山地域の小学校も最新の設備や先端カリキュラムなどハード、ソフト面の両面で、市内で差が出ないようにしてもらいたい。	御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。教育委員会としても、市内で教育面で差が出ないようにしていく必要があると考えております。 貴重な御意見ありがとうございました。
6	メール	E	学区提案Eに賛同します。児童数のバランス重視の方針がよいと思います。	御回答ありがとうございました。	通学路の確認。木交差点を使う児童数が今後も増えると思います。 歩道橋の老朽化と児童数の多さで、特に雨の日の登下校時、傘を持ちながら足を滑らせないか心配です。 ①歩道橋の補修修繕を検討ください。 ②児童数の増加に沿った、新たな登下校ルートを検討下さい。	御回答ありがとうございます。 ①歩道橋の件については、県へ報告させていただきます。 ②子どもたちの通学の安全が重要であると認識しておりますので、新設校開校に向けて安全な通学路を設定していく必要があると考えております。最終的には、各学校の学校長が決定します。
7	メール		南流山小学区について、教育委員会推しのE案は元々遠方の南流山７．８丁目の通学距離が延びてしまいます。南流山7.8丁目地区は歩道のない通学路や横断歩道など危険個所がいくつか存在しています。そのような地区の子をより遠方へ通わせることは危険性が増します。中学校へ行くには神明堀の横断歩道も通過しなければなりません（信号もなく危険箇所）。また遠方の通学時間は低学年は4.50分かかるこもしれないということす。人数の関係で、、、ということならば、南流山7.8丁目、流山街道より西側の木地区はより近い第一小へ、ウェリス地区（マンション・戸建て）は第二小へはどうでしょうか？E案のウェリス地区を第一に、遠方の南流山7.8丁目地区が第二となると、かなりの人数が小学校前を通過しなければなりませんし、第一小に近い子が第一へ、遠方の子が遠い第二へとなると遠方の子が不憫です。住所や人数で分けるのも大切かもしれませんが、一番大切なことは子どもたちの安全な通学ではないでしょうか？？これで南流山7.8丁目が第二小になったら、子供たちの安全性は二の次にされたと捉えていいのでしょうか？学校が東西に分かれているのだから、通学区もなるべく東西で分けるべきと考えます。E案また他案の区画自体を見直せないでしょうか？不公平を訴えれば皆が公平とはならないことは承知ではありますが、やはり危険な通学路を長距離歩かせることを案として勧めるのはいかがなものなのかと考えます。保護者たちは、市がほぼE案を示しているのにアンケートを取る意味と、これでE案に決定したらとりあえずアンケートは取ったってことにするのどろうと、かなりこのやり方に不信感を抱いています。もう少し通学の安全性を加味した通学区に決定してほしいです。	貴重な御意見ありがとうございます。子どもたちの通学時の安全が非常に重要であることは認識しております。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。		
8	メール	E	E案に賛成です。他県で小学校教員をしていますが、AやB案は、1500人以上の児童数となってしまい、運動会などの行事の実施が難しくなり、あまりに多くなると、臨時的任用教員や新任教員を指導したり、フォローできる教員が少なくなり、乱雑になると思います。そのため、新設校との教育格差もできてしまうと感じます。 児童数が増えても、しっかりとベテラン教員が指導、フォローでき、子どもたちみんなが気持ちよく過ごせる学校になることを期待します。 よろしくお願いいたします。	御回答ありがとうございました。		

(仮称)南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
9	メール		是非、わくわくスーパー横の歩道橋を早急に直していただきたいです。 ご担当の方、どなたか渡られた事ありますか？雨の日など傘をさした子供達が歩道橋の上で降りられず待っている光景は見ている方が怖いです。 大人でも渡るのが怖いほど老朽化している歩道橋を毎日子供達に渡れと言うのが本当に心苦しいのです。危険でしかないです。 どうか早急にご対応下さい。 よろしくお願い致します。	御心配をおかけして大変申し訳ございません。歩道橋の件については、県に報告いたします。		
10	FAX	F	Ｆ案として、県道野田松戸線を学区境界とするべき。面積的にも、比較的大きなマンションの数的にも（児童数が）釣り合いそう。例外なく県道の西側は、南流山小学校へ、県道の東側地区は、（仮称）南流山第二小学校へ。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。一部離れている木地区については、今後通学区域審議会でも議論していく必要があると考えております。	南流山中学校の東洋学園大学跡地への移転について。大学と中学では、校舎の構造も違って、結局多額な改装費が掛かってきそう。原点に戻って、学区の中央部に近い所への設置も再検討願いたい。	御迷惑をおかけして申し訳ございません。南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。
11	FAX	A-1	私は、Ａ－１を希望します。 　理由として、南流山第２小学校は、もともと中学校であったため造成が必要。その点が無駄を省き、今後増える児童数へ備えることがより可能。工事等の手間や将来を考慮していずれ学校が変化することを（長期的な見通し）踏まえて。長い年月の中では、いずれはまた1つになるのではないか。Ａ－2，Ｂ，Ｃ，Ｄ案には論外です。 　Ｅ案について2点で反対。①木3丁目（将来）の児童が同じ通学路を通りながら、別の学校に通うことや将来木3丁目の児童が別の学校に通うことになる。 ②南流山2丁目から8丁目の児童が南流山第２小学校に変更される。木地区の増加で他地区の学区変更は、気の毒なこと。木の地区を第２小学校にするべきではないかということである。	御回答ありがとうございます。 A-1案ですと、令和６年の時点で改築等が必要になってきます。木３丁目については、今後通学区域審議会で議論していきます。貴重な御意見ありがとうございました。		
12	郵送	Ａ－１	Ａ－１案を希望します。 学区は、住所（南流山、木）で区別されるのが保護者にとっても子供にとっても納得がいくものであると思います。そして、教室の増加が可能である（Ｅ案メリットより）第二小学校をこれからの児童数増加が見込まれる木地区へ充てた方がよいかと感じました。	御回答ありがとうございます。 教育委員会としても、住所で分けることが理想的であると認識しておりますが、児童数や教室数の関係からE案を推奨しています。貴重な御意見ありがとうございました。		
13	郵送		根本的な問題の解決方法として、新設の小学校を作るのではなく南流山小学校の校舎を2つにすることにすれば、そもそも学区を分けるという問題は発生しないのではないか。例えば１～３年を現南流山小学校、４～6年を旧南流山中学校校舎に分けるなど、人数バランスが年度によって変わっても小学校が同じなら、そのバランスを変えることで適切に対応できる。 流山おおたかの森の小学校の事例のように学区の変更が招く混乱は、自治会の範囲の分断、兄弟で別の小学校に行くことになったり、近所の友達とも別の小学校になるなど、非常に大きい。	御回答ありがとうございます。 学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。また、現在も兄弟姉妹が別の学校にならないような配慮をしております。 貴重な御意見ありがとうございました。	南流山中学校の移転に関しても、自転車通学の安全性確保など、問題の解決がなされていないまま。意見は聞くが、今回のように既に解決されたかのような印象の告知を行い、事後に意見を市民に求めているようにもとれる。街づくり委員会などを活用し市民の意見を中立に見てもらえるようにすべきかもしれない。	南流山小学校区域内に学校用地を確保することが困難であるため、現南流山中学校を、児童が徒歩通学可能な新設小学校とし、中学校は新たに自転車通学を認め、東洋学園大学旧校舎へ移転することとしました。御迷惑をおかけして大変申し訳ございません。
14	持参	E	流山市教育委員会としての通学区域案Ｅが良いと思います。理由も納得です。	貴重な御意見ありがとうございました。	2つの隣り合った小学校にするのではなく、「低学年校舎」・「高学年校舎」としてやっていくのはいかがでしょうか。改装等もそこまで必要なく、また、学年の途中から友達と学校が分かれてしまう子どもたちの気持ちを考えると、学校が別にならずに済むと思うので。（低学年校舎（1年～4年）：南流山小学校、高学年校舎（５,6年）：第二小学校）	貴重な御意見ありがとうございました。学年で校舎が違うということとなると、学校としては１つの学校ということになります。教員の配置や設備面など、学校運営上の支障が出てくることが予想されます。２つの学校に分けることで、良い教育環境が整えられると考えております。

（仮称）南流山第二小（16件：FAX2,メール9,郵送3,持参2）

No.	回答方法	希望学区	通学区域について		その他	
			意見	現時点の教育委員会の考え	意見	現時点の教育委員会の考え
15	持参		Ｅ案に反対します。 流山街道で分ける案を提案します。南流山7丁目は、ただでさえ遠いのに（仮）第二小までだと低学年の子は大変です。隣接しているとはいえ、門から門まで離れているし、間の道路はヤオコーなどに行く車がわりと通り、危険です。南流山と木が混在していることは、今考えることではないと思います。木交差点の朝の登校時の混み具合をご存じですか？流山街道をこえて通学する子たちは７，８丁目のマンションに住んでいる子も多いです。それとA1とＤ案についても地図上でみると分かりやすいのかもしれませんが、スシローの信号（マツキヨとの）登校時渡るの禁止です。マツキヨから土手に向かったところに住んでいる生徒は、木交差点を通って登校します。第二小は遠すぎます。木だけではなく南流山も子供（弟二子、三子など）増えています。	御回答ありがとうございます。流山街道で分けるとなると、学区内に小学校がないことになるため、案としては考えておりません。地域コミュニティや児童の登下校を考慮し、学区内に学校があることが望ましいと考えております。通学路の安全については、防犯面を含め、各関係機関と連携し、開校に向けて必要な対策をしていきます。貴重な御意見ありがとうございました。		
16	郵送		①「案Ｅ」に設定（決定）した経緯、詳細な理由を教えてください。 ②どの案でも、途中から沢山の子供達が仲良くなったお友達と離れる事が想定されます。今後（来年以降）の学校のクラス分けは、南流小と第二小になることを踏まえて、学区を考慮して決めてほしいです。 （例：１～４組南流小、５～８組第二小等） ＊コロナ禍で子供達はとてもストレスをかかえて、学校に通っている状態です。子供達にも納得のいくご説明、又子供達の事を優先にご検討の程お願い致します。	御回答ありがとうございます。 ①について 通学区域の面積、通学距離、地域コミュニティ、児童数、教室数等をもとに、各案のメリットデメリットを考慮しました。 ②について 今後学校運営において検討の余地があると認識しております。貴重な御意見ありがとうございました。	①在校生は南流小を卒業できるようにご検討お願い致します。 ②「第二小」になった場合、「南流小」に残る事（手続き等で）は可能でしょうか。＊学校が変わる事により、不登校児童増加懸念、順応できる子供ばかりではないため。 ③ＰＴＡの履歴（令和5年まで経験している方）を第二小に引き継いでほしいです。 以上、ご検討お願い致します。	御回答ありがとうございます。 ①②について 在校生全員を卒業まで通わせることは難しいと考えております。学年による許可については、今後通学区域審議会で議論していく必要があると考えております。もし許可要件が設定され、その許可要件に該当するお子様は手続きにより、引き続き通うことができます。 ③について PTAに関しては、教育委員会からはお答えできません。